

浜松協働学舎 支える会だより

〒433-8108 浜松市北区根洗町 681 番地の 5 ☎053-430-0596

浜松協働学舎を支える会 代表 小林琴代

2017.6.15

no.60

工房だんの改修工事

平成二十九年二月から四月にかけて、「工房だんの改修工事」と「こもれびの家」の開設を行いましたので、ご報告いたします。今後とも浜松協働学舎への温かいご支援を、よろしくお願いいたします。

サービス管理責任者 掛井直樹

二月二十日（月）より約一か月かけて工房だんの改修工事を行いました。現在の建物は平成二十年に開設されましたが、九年目での改修工事となりました。

今までは、「うらら」「やよい」の2クラスでしたが、今年度より「のどか」が加わり、三クラスでのスタートとなりました。現在二十六名の皆様が利用されています。

活動内容は、鶏卵パック詰め、下請受注作業です。また、ご利用者の体力作りを目的として散歩も行っております。地域の方たちとあいさつを交わしたり、話をしたりすることも楽しみの一つです。

建物の構造上、個人のスペースを確保しつつ、ミーティング、食事、休憩（コーヒータイトムなど）は皆で一緒に取るようにしています。開設当時より個人での活動、全体での活動を尊重し、大切にしてきています。

四月より新しい仲間が三名加わりましたが、皆さん各クラスで楽しく活動されています。また近くにお立ち寄りの際には是非遊びにきて下さい。



こもれびの家のご紹介

施設長 藤井良之

「青葉の家」は重い障がいのある人のデイケア施設として平成元年にスタートし、利用希望の増加にともない平成五年に「第二青葉の家」、平成七年に「第二根洗作業所」を開設しました。平成十九年からは障がい者自立支援法の施行に伴い、これらの三施設を統合し「青葉の家」として一体的に運営してきました。この四月からは支援体制の強化のため、「第二青葉の家」と「第二根洗作業所」を統合し、青葉の家から分離して、「こもれびの家」という新たな施設としてスタートしました。

「こもれびの家」は主に身体と知的に障がいのある人たちの日中活動場所です。ゆったりと自分のペースで取り組む陶芸、農作業やパンの製造販売、企業の下請けのリサイクル作業や機能維持の訓練が主な日課です。

施設に併設された「しまうま倶楽部」のお店では、障がいのある仲間たちが作った焼き立てのこもれびパン、世界に一つしかない個性豊かな遠州根洗窯の陶器、クッキーや皇月堂のせんべい、農作物など魅力的な商品がいっぱいです。また、遠州根洗窯の作品を楽しみながらコーヒーマシンのソフトクリーム、お買い上げいただいたパンなどを召し上がれるイトインスペースもご用意しています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。



熊本地震被災地の今 ～益城町～

花の香りに心弾ませる季節となった四月、昨年熊本
被災地支援に派遣された私たちは、約一年ぶりに熊本を
訪問しました。

被災地の現状をテレビやインターネットといったフィ
ルターを通してではなく、被災地の生の声を聞き熊本の
「今」を直接見て感じたかったこと、そして「浜松協働学
舎を支える会」を通して善意を寄せていただいた義援金
と皆様の熱い気持ちを、直接「被災地障害者センターく
まもと」の関係者へ手渡したいという思いで、熊本に向
かいました。

熊本駅から益城町へは車で約四十分です。新幹線から
熊本駅で小回りの利く自動車へと移動手段を変え、益城
町へと向かいました。雲一つない青空の下、車内ではラ
ジオを聴いて移動していましたが、ラジオから聴こえて
くるのは一年前の熊本地震の話題がほとんどで、改めて
「ここは熊本なのだ」と感じました。



益城町の木山神宮

拝殿の柱は折れてしまい、屋根が真下
に落ちています。立派な鳥居も建ってい
たようですが、崩れ落ちてしまったとの
ことでした。狛犬は落ちてしまい損傷し
ましたが、5月中旬には台座に戻ったよ
うです。



「障害者がともに暮らせる地域創生館」開所式

平成 29 年 2 月 21 日、益城町にて行われた開所式の様子です。

熊本市内を抜け益城町周辺を移動していると、一年前
にはよく見られたブルーシートで屋根を覆われた家屋は
ほとんど姿を消し、曲がった信号機は空へまっすぐと伸
び、道路のうねりもほとんどありませんでした。倒壊し
そうだった家屋は解体され、今は更地となり、人々が集
う憩いの場が変わっていました。その光景だけを見れば、
着実に復興は進んでいると感じてしまうほどでした。

道に迷うこと数十
分、ようやく私たち

は目的地である「被

災地障害者センター

くまもと」に到着し

ました。「被災地障害

者センターくまもと」

は、活動の拠点を熊

本市内から益城町に

移動し、本部を「障

害者がともに暮らせ

る地域創生館」に移

して、今後も被災地

障害者の方々への支

援を続けていくことでした。

「被災地障害者センターくまもと」で、スタッフの方に現
状と課題について伺いました。

○ボランティアが減少している。地元のボランティアの
開拓とボランティアの長期的な確保が必要である。

○SOSの連絡の内容に変化が見えてきている。時間を
かけての傾聴、病院への移動支援や付き添いが求められ
ている。しかし、行政の対応は困難で、心に寄り添うサポー
トが必要である。

○熊本県全体で家屋の解体はまだ五十%以下にとどまっ
ていて、復興はまだまだ道のりは遠い。

○障がいのある有無に関わらず避難所に入る事が出来ず、車



皆様からお寄せいただいた義援金をお渡ししました。

での車中泊の方が多かったが、避難所に入れなかった障害児者（その家族）の問題はこれからも解決すべき課題である。

○みなし仮設で今年に入り十三名の方々が死亡した。仮設に入ることで住民同士の付き合いが希薄になり、孤独死が今後も予測され、その対応が必要である。



訪問した当日は、地震から約一年ということもあり、各メディアの方々が現地で取材をしていました。しかし、まだ一年しか経っていないのに、これまで熊本地震のことが全国メディアで報道される

ことはほとんどなく、すでに過去の話になりかけているのが現実です。区切りの一年だからではなく、定期的に情報を提供し、もっと今の熊本を知ってほしいと事務局スタッフは熱く語られていました。

今回改めて熊本の状況を見てきて、地域と福祉施設が情報を共有し連携していくことの大切さを感じました。福祉施設が地域の要援護者をどれだけ把握しているかが災害時には問われます。しかし、地域の方が施設を訪問する機会は少なく、施設側が積極的に施設を地域に開放し、日常的に地域の方々と交流する場を作り、地域とのつながりを増やしていく必要があるように感じました。



「障害者がともに暮らせる地域創生館」外観
熊本市だけでなく、益城町や西原村、その他の周辺の地域に拡大して活動をしています。

ホームページ <https://hisaitikumamoto.jimdo.com/>

また東日本大震災のときと同じく、熊本地震でも行政の個人情報保護による要援護者の情報提供がなく、支援機関が被災者の状況を把握することに時間がかかっていました。そのため、普段より福祉施設が関係団体（民生委員や行政）と連携して、要援護者の情報共有をいくことも大切です。そして日頃からの福祉施設と地域との共生社会を作っていく活動が必要であると思いました。私たちは、報告会などを通して、経験し見てきたことを伝えていく義務があると考えています。「こんな大変なことがあった」ではなく、「あったことからどう学び、そして自分たちはどうしていくのか？」と、具体的な策を考えそれを実行に移していくことが急務であると感じています。

どのような形であれ、今後も「熊本」に関わっていきたいと思います。

浜松協働学舎 根洗寮 大石哲也・鈴木健太

防犯設備の設置 浜松協働学舎根洗寮

根洗寮では防犯体制の強化と緊急時に迅速な通報体制が図れるよう、防犯用カメラと警察への非常通報装置の設置をしました。

障害者支援施設「神奈川県立津久井やまゆり園」において多数の入所者が殺傷されるという痛ましい事件が発生し、1年が経とうとしています。この事件を受け根洗寮では、職員を対象とした細江警察署による不審者対応訓練の実施したり、ご利用者の皆様の安全確保と防犯対策についての話し合いを持ち、改めて「いのちと尊厳」を守るこそが私たちの仕事であるということを確認しました。

今後も、警察等関係機関と協力・連携を図り施設におけるご利用者の皆様の安全確保に努めてまいります。地域に開かれた施設運営を行うためには地域住民、家族、ボランティアとのつながりが何よりも重要となります。ご利用者の皆様が安心して生活することができるよう防犯対策について根洗町の皆様との連携に努めてまいりますので、今後ともご理解ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、この事業には平成28年度浜松市社会福祉施設等施設整備事業により補助金が交付されています。工事費1,136,160円、補助交付申請金額852,000円、浜松市のご高配に心より感謝いたします。





浜松協働学舎を支える会も参加しました！

「第三回福祉ふれあいフェスタinはままつ」

ボランティア活動を行っている人たちと市民が連携し、広く地域福祉づくりに関心・理解を深めることを目的として、平成二十九年二月十一日（土）に、福祉交流センターにて「福祉ふれあいフェスタinはままつ」が開催されました。これまで秋に開催されていた「浜松市友愛広場」と春に開催されていた「ボランティアビューローまつり」が統合され、浜松市の福祉イベントとして再スタートして三回目になります。福祉施設をはじめ、ボランティア団体、福祉教育関係団体などが出店を行ったり、ステージでパフォーマンスを披露したり、また日ごろの活動をポスター展示するなど、終日大勢のお客様で賑わっていました。



浜松協働学舎を支える会は、浜松市ボランティア連絡協議会の構成団体として参加させていただき、浜松協働学舎のご利用者と職員でお茶席コーナーを担当しました。お茶席の一角では、浜松協働学舎で作るクッキーやおせんべい、陶器などの授産製品の販売も行いました。来場された方々には、根洗窯の手作りのお茶碗で一服のお茶を召し上がりながら、静かなひと時を過ごしていただきました。

青葉の家の地域交流事業です

「ねあらい春のやきものまつり」

毎年恒例の「ねあらい春のやきものまつり」が、三月十一日（土）に第二青葉の家（現・こもれびの家）を会場に行われました。晴天に恵まれ、当日は大盛況！たくさんの方の地域の皆様にご来場いただきました。

当日はいろいろな場面でボランティアさんにご協力頂きました。特に聖隷クリストファー高校の皆さんには、今回初めて陶芸やパンのお店などをお手伝いいただきました。また、アトラクションやフリーマーケットでは様々な形でおまつりを盛り上げてくださいました。感謝です。

さて、会場内を見渡してみましょう。まずはおまつりのメイン会場の陶器の販売です。今回は、「花とねこ展」というテーマで、花とかわいいねこをモチーフにした植木鉢やお皿、オブジェなど、沢山の新作商品が展示販売されました。十三時より行ったタイムセールも大繁盛で、沢山の陶器をお買い上げ頂きました。

また、中庭でのアトラクションコーナーでは、地域の子どもたちのサークルによる和太鼓演奏や中学生・高校生による楽器演奏など活気の溢れるステージ！多くのお客様



平成 29 年
10 月 7 日（土）
秋のやきものまつり

皆様のご来場を
お待ちしております。



が足を止めて下さり、会場を大いに盛り上げて下さいました。

焼きたてパンの店「こもれび」では、新作商品が大好評で、すぐに売り切れてしまいました。青葉うどんコーナーやポップコーンも好評で、休憩コーナーではご家族で舌鼓を打

つ姿が多く見られました。

おかげさまで陶器や食品などの販売も好調で、何よりご利用者の多くの笑顔を見られたことが嬉しかったです。地域の皆様と青葉の家が繋がった、そんな春の一日になりました。

新任職員紹介



宮舘知由

今年度から根洗寮の生活支援員としてお世話になります。宮舘知由(みやだてちゆ)です。実習でお世話になったときも、実際に「仕事」として始まった今も、「こんな風に関われるようになりたいな」と刺激や憧れがいっぱいです!

保育の勉強をする短大に通い、3月に卒業しました。早く知識と技術を身につけ、いつか自分の支援にも私らしさが出せるようになりたいと思います。よろしくお願いします。

①散歩嫌いな犬 ②その人を知らなければ、その友を見よ ③ルイヴィトンを自分で買ってみたいです!! 残りのお金で旅行に行きまくりです!(NYでブロードウェイを見たい)



袴田真実

今年度から根洗寮こまちユニットに配属になりました。袴田真実と申します。

出身は浜松で、幼い頃から慣れ親しんだ土地で働くことができ嬉しく思います。趣味はお菓子作りで、友達の誕生日にはクッキーやケーキを作ってプレゼントしています。特にクッキーが好評で、よく作っています。至らぬ点が多々あると思いますが、ご利用者の皆さまが安心して暮らせる場を提供できるように、サポートしていきたいです。

①寝ることが好きなので「なまけもの」です。②常に笑顔でいることを心掛けていますので「笑顔」です。③食べるのが大好きなので高級寿司屋と高級焼肉屋に行って満腹になるまで食べたいです。化粧が好きなので化粧品をたくさん買いたいです。



小野海

今年度よりつばめユニットに配属になりました。小野海と申します。

出身校は静岡県立大学短期大学部となりますが、2013年に別の4年制大学を卒業しております。そのため、少し変則的な学生時代を過ごしたと思います。

また、今までは静岡のハンバーグ店やファストフード店などの飲食業界でしか働いたことしかなく、この世界は初めての経験ばかりです。そのため、何度もお手を煩わせてしまうかと思いますが、これからどうぞよろしくお願いします。

①動きが似ているからなのか、昔からよく「猿みたいだね。」と言われます。あまり自覚はないのですが…。②小さい頃から引っ越しが多かったためか、「幼馴染」という言葉に、何か特別な物を感じます。③1ヶ月に1度、美味しい物を食べて、小さな贅沢を長く味わいたいです。



内藤佑樹

出身は浜松ですが、大学は栃木県の国際医療福祉大学に通っていました。学生時代は、ずっとテニス部に所属していました。社会人になっても体が怠けないよう続けていこうと思っています。趣味は、ボールドリングです。大学生の時に初めて行い、難易度の高い壁を登った時の達成感が気持ちよく、ハマってしまいました。

1日も早く皆さんの力になれるよう、先輩方の指導のもと頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

①たぬき ②努力は人を裏切らない ③欲しい車の頭金

皆さんに質問です。

- ①自分を動物に例えると
- ②好きな言葉
- ③100万円あったら



縣裕美

新人の縣裕美です!新人といっても昨年の6月からの入職なのでやや態度が大きくなりつつあります。でも新人です!みなさん、新人には優しく声掛けてくださいね。

新人というと、若く思われがちですが、若いです!誰も言ってくれないので自分から自負します。身体が思っているよりも動いてくれないこともあります。めげずに若さいっぱい皆さんと共に歩んでいきたいです!よろしくお願いします!

①さる ウッキッキー ②よく食べ、よく寝る ③旅行!国内旅行が大好き!



鈴木好

4月からこまねびの家に移動になりました鈴木好(このみ)です。

学舎に来るまでは、ずっと老人介護の仕事をしていました。これからも、ご利用者の幸せを一生懸命考えられる支援者になりたいと思っています。

何もないところでつまずいたり、咳き込んだりするおっちょこちょいで、明るさだけが取り柄です。よろしくお願いします。

①駄犬 ②明日は明日の風が吹く ③宝くじ買います



北智子

1月から、勤務させていただくことになりました北智子です。根洗寮とグループホームすてっぷの事務を担当させて頂くことになりました。私自身、事務の仕事は初めてで失敗ばかりです。3歩進んで、4歩下がる、1歩も進んでないと言われそうですが、毎日少しずつでも、前に進んで行けるように、頑張る次第です。

ご利用者、職員の皆さんが、笑顔で働いて貰える場所を作って行きたいです。よろしくお願いします。

①牧場のひつじ ②粒粒辛苦 ③あつみのうなぎが食べたいです。



川崎勇太

1月から根洗作業所で勤務しております川崎勇太です。九州の佐賀県出身で大学から浜松に住み始めて10年目になります。小学生の頃にサッカーを始めて、現在も社会人チームに所属して続けています。昨年までは幼児の療育や発達障がい・不登校の小中学生が通う塾で学習をみていました。大学院で臨床心理学を学んでいたので活かしていきたいです。ご利用者の皆様が安心して過ごせるように努力していきますのでよろしくお願いします。

①草食恐竜 ②雑草魂 ③奨学金の返済

静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団「第54回 愛の都市訪問」寄贈の報告 =青葉の家=

静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団の社会福祉事業「第54回 愛の都市訪問」の福祉助成に応募したところ、38団体応募の中、決定10団体に青葉の家が選ばれ、パン販売用の車両を寄贈いただきました。

この車両は、ご利用者とともに企業や市役所への移動販売に大活躍しております。今後も大切にに使わせていただき、ご利用者の笑顔とともに美味しいパンを運び、販売に役立てたいと思っています。ありがとうございました。

この紙面をお借りして、愛の都市訪問にご寄付いただいた多くの県民の皆様に厚くお礼申し上げます。



浜松グリーンライオンズクラブ様よりタオルの寄贈 =浜松協働学舎 根洗寮=



4月21日に、浜松グリーンライオンズクラブ（田端良行会長）様より、会員の皆様から寄せられたタオル176枚を頂きました。ご利用者の代表がたくさんタオルを受け取り、感謝の気持ちを伝えました。

このタオルは、ご利用者が食事の際に使用するためのエプロンや、手拭タオルにしたりと様々な用途に使用させていただきます。また施設内の衛生美化にも活用して、清潔で快適な生活をつくりたいと思います。

たくさんのタオルを頂戴いたしましてありがとうございました。
大切にに使わせていただきます。



全国労働者共済生活協同組合連合会様よりタオルの寄贈 =根洗作業所=



全国労働者共済生活協同組合連合会様よりタオルの寄付を頂きました。以前からしまうま倶楽部のクッキーをノベルティとして使用して下さっている全労済様。今回は会員様のご好意で集めたタオルを、地元で根差した活動を行っている施設に是非とも活用してほしいとの思いから、頂けることになりました。

タオルは生産活動のみならず、日々の生活支援でもたくさん使用する物品のため、大変助かりました。大切にに使わせていただきます。



株式会社平出章商店様 おいしいケーキいつもありがとうございます。 =根洗作業所・青葉の家=

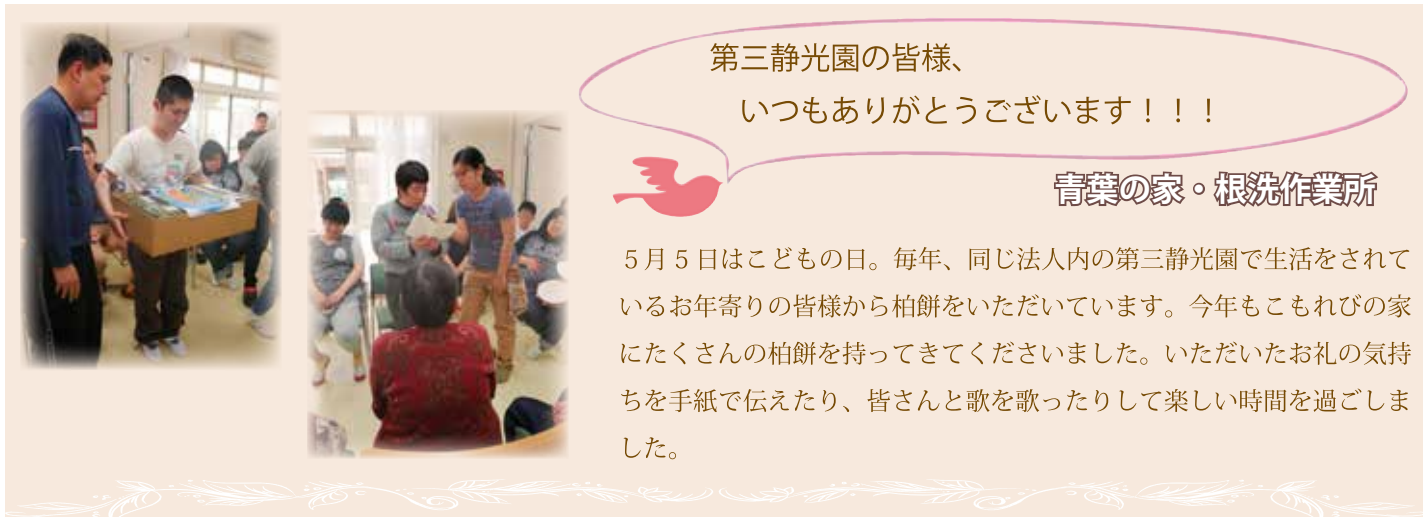


クリスマスのお楽しみと言えばもちろんクリスマスケーキ。実はパン・クッキーの原材料仕入れ業者「株式会社 平出章商店」様から、毎年クリスマスケーキをいただいています。

いただいたケーキにみんなでデコレーションをしてみたり、そのまま頬張ってみたい。毎年のクリスマスのお楽しみとなっています。

平出章商店様、いつもありがとうございます！！





第三静光園の皆様、

いつもありがとうございます！！

青葉の家・根洗作業所

5月5日はこどもの日。毎年、同じ法人内の第三静光園で生活をされているお年寄りの皆様から柏餅をいただいています。今年もこもれびの家にたくさんの柏餅を持ってきてくださいました。いただいたお礼の気持ちを手紙で伝えたり、皆さんと歌を歌ったりして楽しい時間を過ごしました。

ひかり音楽会を行いました！！！！

5月28日に第三誠光園かわせみホールでひかり音楽会が行われました。ひかり音楽会は、今年初めての試みで、地域で活躍するバンドやシンガーソングライターの皆さんをお招きして、会場にいる全員で音楽を楽しむイベントです。

浜松協働学舎からは、「ばったん」が参加して、クラシックや流行曲などを演奏しました。お年寄りたちから「上手だったね」と声を掛けられると、照れくさそうな笑顔を浮かべるばったんの皆さんでした。



平成28年度浜松協働学舎を支える会決算書

収入の部

科目	中区分	本年度決算額A	予算額B	増減A-B	備考
寄付金収入		1,892,726	1,650,000	242,726	
	会費収入	1,232,500	1,400,000	-167,500	会費
	寄附金	376,500	250,000	126,500	一般寄付
	寄附金(支援金)	283,726	0	283,726	熊本地震支援金
雑収入		195,305	201,500	-6,195	
	バザー収入	195,220	200,000	-4,780	やきもの祭り 127,505 スマイル祭 63,115 ふれあいフェスタお茶会 4,600
	雑収入	85	1,500	-1,415	預金利息
合計		2,088,031	1,851,500	236,531	

支出の部

科目	中区分	本年度決算額A	予算額B	増減A-B	備考
一般物品費		10,802	5,000	5,802	事務用品
印刷製本費		206,180	250,000	-43,820	機関紙印刷代 封筒
通信費		178,293	185,000	-6,707	郵送費 手数料
交通費		6,000	30,000	-24,000	浜米連参加交通費
雑費		165,421	185,000	-19,579	中元 歳暮 団体会費
小計		566,696	655,000	-88,304	
特別会計繰入金支出		578,447	120,000	458,447	
	助成金	578,447	120,000	458,447	施設助成(防災倉庫2カ所)
寄附金等支出		320,773	0	320,773	
	熊本地震支援金	320,773	0	320,773	物資寄贈・派遣旅費・募金
予備費		0	1,076,500	-1,076,500	
支出計		1,465,916	1,851,500	-385,584	
当年度収支差額		622,115	0	622,115	次年度繰越金